

若い人たちの知識と行動力にびっくり

倉敷医療生協 日本国憲法公布80年 平和企画

徳田悠希さん 講演「ジェンダー×核兵器」

長崎高校生平和大使 活動報告

クロストーク ぞうれっしゃ合唱団

242人が参加

2026/5/9



徳田悠希さん



会場いっぱい参加者



左から高田健士郎さん 苺序知さん



平和への願いを込めて「ぞうれっしゃ合唱団」の演奏



それぞれの想いを語り合った「クロストーク」

倉敷医療生協主催「日本国憲法公布80年平和企画」ぞうれっしゃ合唱団による演奏、徳田悠希さんの講演、長崎高校生平和大使 高田健士郎さん 苺序知さんの報告、トークセッションが5月9日、くらしき健康福祉プラザで開かれ、会場いっぱいの242人が参加しました。

徳田悠希さんは、大学院で核軍縮や核兵器廃絶の研究、国連の会議などへの参加の経験を踏まえ、「『ジェンダー平等×平和』とは、性別にかかわらず、平等に責任や権利を共有しながら、あらゆる不平等や不条理を再生産することなく、物事を一緒に決めていくこと」と語りました。

長崎高校生平和大使の2人からは、『ビリョクだけれどもリョクじない』をモットーに、核兵器廃絶と世界平和を願い、高校生1万人署名」を国連に届けるとともに、小学校で講演活動をするなど積極的な活動が報告されました。クロストークでは、倉敷医療生協職員・組合員も加わり、平和の活動をどうつなげ、広げるかについて、真剣なトークが行われました。

参加者からは、「若い人の行動力にビックリし、感動した」「ジェンダーの視点はすべての世代で学ぶ必要のある内容でした」などの感想が寄せられました。

●徳田さんの研究テーマ「ジェンダーと核兵器」は興味深い視点ですね。女性の放射線感受性とか発がん性は、ジェンダーというよりセックス(生物学的性差)の問題ですね。娘と一緒に参加したかったです。

●出演者の一人一人がそれぞれの体験の中で、なにがやりたいか、何をすべきかを考え行動された事を話された。その経験に裏打ちされた感性や意見に、自分自身を重ね合わせ、平和への思いの初心に返れた。

●クロストークの質問者の発言で大切なことに気づきました。自分が平和に生きていきたいと思えば、自分の考えをしっかりとって、核を持たない作らない使うのを反対する、し続けようと決心しました。学びの場をありがとうございました。

●若い人が平和について、熱く語るのを聞いて、頼もしく嬉しく思いました。

「ジェンダーと核兵器」はどう結びつくのか、勉強になりました。高校生が小学校に平和教育にいく活動は驚きました。素晴らしいなと思いました。自分のこととして平和を捉えることが出来るかなと、知る学ぶことはとても大切だなと学べました。

●ジェンダーの視点は今まで意識したことが無かったので、新しい視点をもたらしたと思います。「何でもジェンダーの問題にするのは、視点がボケるのでは？」との意見もありましたが、無差別殺人という視点と、ジェンダーの視点と、両方とも大切ではないでしょうか？

5/9平和企画 寄せられた感想

●若い人はすごい、よく学習され体験されていると思った。被爆者からは声を聞く、スイス、ニューヨーク、韓国に実際に行く、活動の仲間・先輩と話す、すごい行動力と知識欲には頭が下がります。学ぶことが多かったです。

●ぞうれっしゃ合唱、素晴らしかったです!!



社保・平和委員会の平和の取り組みの展示もありました

●若い徳田さん、高校生の皆さんの頑張りに(平和活動)感心しクロストークがとても良かったです。(楽しかった)オープニングぞうれっしゃ、初めて聞きました。良かったです。

●核兵器のない世界へ、まずは周囲の相手をリスペクトし、一致点を見つけ一緒に行動すること、肩ひじ張らずやりやすい方法でとりくむこと。芯をしっかりとっておくこと。「平和運動ガチガチ頭」ではなく、多彩な視点で仲間を広げることの大切さ。徳田さんや高校生の皆さんたちから、たくさん学び、ヒントをもらいました。とても素敵な企画でした。ありがとうございました。

●皆さんの考え、経験を聞くことができ勉強になりました。私も小学生の頃から学校で毎年戦争のことを学び、祖父祖母からも話を聞いてきました。子どもの時は何気に聞いていましたが、それが根底にあるからこそ、今戦争はダメなのだと解っているのだと思う。この毎年の教育が無いならゲームや漫画の世界しか知らず、戦争がダメだとわからなかったかも知れない。小さな活動の積み重ねが世界を救えると思う。



徳田悠希さんの講演、
長崎高校生平和大使の報告、クロストークは、
たまテレYouTubeチャンネルで配信公開中です。

